

なからぎ

194号

2011年1月

「人類の起源」から「人類の歴史」へ

学長 竹 葉 剛

ヒトの祖先が類人猿との共通祖先からアフリカで分かれたことは、主に化石による研究から推定されていたが、遺伝子による解析の結果、現生人類は約15万年前にアフリカで誕生し、7～6万年前以降にアフリカを出て世界各地に拡散していったこと、さらには、現在世界の各地に住む民族間の類縁関係やアフリカからの拡散の経路なども、その詳細が明らかにされつつある（例えば、地学雑誌 118:311-319, 2009）。

一方で、世界各地の遺跡の状況が次第に解明されてきており、上記遺伝子による推測結果と時間軸では重なり始めている。大貫良夫他著の「人類の起原と古代オリエント」（世界の歴史1、中公文庫）によると、現生人類は3～2万年前にはほぼ世界の全域に住みつき、約1万年前に氷河期が終わり地球全体が温暖になってから以降には、ヒトの定住遺跡が世界各地で発見されていることが分かる。特に、メキシコやアンデスの遺跡群の詳細を知ると、文明は世界各地でそれぞれ独自に興隆したことがよく分かる。

世界各地における文明の起源とその後の展開については、ジャレド・ダイヤモンド著「銃・病原菌・鉄」（倉骨彰訳、草思社、上下）が非常におもしろい。この本の原著はピュリッツァー賞（1998年）を受賞しており、日本語版も朝日新聞社「ゼロ年代の50冊」の第1位に選ばれた。この本は、世界各地の文明の起源とその後の展開を、主にそれぞれの地域の環境の差異で説明しており、文明の興隆・衰退は民族間の生物学的な差異によるものではないことがくりかえし強調されている。また、アジア、太平洋域、南北アメリカでも、人類の進出とともに独自の文明が早くから築かれていたことが詳しく述べられている。同じ著者による「文明崩壊」（楡井浩一訳、草思社、上下）には、人類の歴史の中で消滅した文明では、森林（環境）破壊が同時に進行している点で共通することが指摘されていて、興味深い。

ついでだが、加藤祐三、川北稔著「アジアと欧米世界」（世界の歴史25、中公文庫）も、14世紀から20世紀にかけて、東アジアと西洋との交流を、海洋路の視点から概説しており、日本や中国など東アジアの状況が詳しく述べられていて興味深い。

これまで自然科学の手法で研究してきた「人類の起源」に関する研究成果が、社会科学の対象となる「世界の歴史」に時間軸でも重なってきた。日本人や日本語の起源の解明など、今後の展開が楽しみである。

御紹介の「世界の歴史1 人類の起原と古代オリエント」中央公論新社 2009.4刊（請求記号 209 || S || 1）、「世界の歴史25 アジアと欧米世界」中央公論社 1998.10刊（請求記号 209 || S || 25）、「銃・病原菌・鉄」草思社 2000.10刊（請求番号 204 || D || 1～2）、「文明崩壊」草思社 2005.12刊（請求記号 204 || D || 1～2）は、2階閲覧室入口の新着図書コーナーに配架していますので、御利用ください。

人間と建築の環境史観

生命環境科学研究科 教授 尾崎 明 仁

今、地球と人類は未曾有の危機に瀕している。この10年間、人口が8億人増え、飢餓人口が1億人増えた。化石燃料の消費や二酸化炭素の排出量も10%前後増加している。森林面積は約0.75億 ha (わが国土の約2倍) 減少し、逆に砂漠面積は約0.6億 ha 増加した。このまま化石エネルギーの消費が続けば、100年後の地球の気温は2.4~6.4℃上昇すると予測されている。

私の専門は建築である。建築というと意匠デザインを想像される方が多いようであるが、建築の領域はその他にも構造・施工・材料・環境・計画・歴史・法規などがありとても幅広い。私は中でも建築環境・設備学を主な分野としている。この分野は物理現象の違いによって、さらに熱・光・空気(物質)・音・水・人間などに分類される。私は、特に熱力学と熱・物質移動論(Heat and Mass Transfer)を基にしたComputer Scienceや建築機能デザイン(エコロジー建築や省エネルギー建築など)を得意としている。簡単に言えば、快適性・耐久性・省エネ性などに優れた建物を、伝熱理論を駆使して科学的に設計し、定量的に評価するということである。国際的には建築物理(Building Physics)という学問体系(わが国では建築環境学に含まれる)はメジャーなのであるが、国内では馴染みのない方が多いようで、建築機能デザインと説明すると頭の上に「???」が浮かんでいるように見える。ところで、冒頭の地球・人類の危機は、建築と何の関係があるのかと思われたのではないだろうか？

建築は人為的な構築環境の産物である。こ

の人工環境によって生活の利便性は向上しているが、自然環境は破壊されている。20世紀は建築都市のスクラップ・アンド・ビルドに大量の資源とエネルギーが投入された。現在はサステナブル(持続可能)な建築都市を目指してはいるものの、資源とエネルギーを大量消費する構図は昔とあまり変わらない。わが国の二酸化炭素放出量の約1/3は、建築に由来すると考えられている。建築は、温暖化に代表される地球環境問題に大きく関与しているのである。

高密度で多機能な現代都市は、巨大なライフラインやインフラストラクチャーに支えられて、安全・安心・健康・快適である。しかしながら、建設エネルギーや運用エネルギーは莫大であり、その多くは化石燃料に依存している。さらに、近年は再生利用エネルギーとして、外気、地熱、河川水などの環境エネルギーまでも使用し始めている。前者は温室効果ガスの排出、後者はヒートアイランドなど都市環境の変化に係わっている。ヒートポンプ原理に基づく環境エネルギーの利用は、自然の摂理とは逆に低温側から高温側への熱の汲み上げを可能にし、一見、未利用エネルギーを有効活用しているように思えるが、大局的には確実にエントロピーを増大させている。大量の物資やエネルギーを貪欲に食べ続ける飽食都市は、地域を超え、国家を超えて地球環境に負荷を及ぼし、グローバルな気候変動まで起こしているのである。果たして、我々は豊かな生活に近づいているのであろうか。

したがって、人間が安全で快適に暮らすた

めに地球環境から営々と切り出してきた環境が建築である。この人工環境は、人体系と建物系と設備系から成る。人体系の生理・心理的要求に応じて、建物系の熱・光・空気・音などの環境要素をパッシブにデザインし、さらに設備系によってアクティブにコントロールすることが、いわゆる建築機能デザインである。建築には、建設から運用、改修、廃棄までのライフサイクルがあり、その間に資源やエネルギーが投入され、廃熱・廃水・廃棄物（環境負荷）が発生する。安全・快適な建築は環境負荷の上に構築されており、その過度な追及は却って足元を揺るがすことになりかねない。竜安寺の蹲に刻まれている「吾唯足知」、すなわち最適な状態よりやや適度な状態がよいということであろうか。我々の当面の課題は、人間と建築と環境の共生方法、つまり人間と共生し自然と親和できる新たな都市建築の創造である。

上記のほとんどは、私の恩師（元九州大学渡邊俊行先生）からの受け売りである。退職記念に執筆された「持続建築のための環境史観」に記述されている。私が教わったのは建築環境学のみであるが、この本には地球と人類の創世から現代に至る壮大な文明の栄枯盛衰が、ご自身で撮影された膨大な写真と一緒に記されている。渡邊先生は、在外研究のため 1 年かけて世界各地を訪ね歩かれたことがあり、その頃から執筆準備されていたようだ。私の理解を遥かに超えているが、古代都市建築の繁栄と衰退を環境の立場で史的に考察されていて、サステイナブルの重要性を説かれている。環境から鑑みた建築史という新たな体系である。

建築都市の中で息づく人間環境、これを支える自然環境、その総体としての地球環境は

いずれも外形的には空間的な概念であり、それは単なる周囲ではなく流れを内包した空間である。つまり、建築都市を取り巻く環境は人間の生活という歴史的流れを包んでいる。化石エネルギーを湯水のように浪費する文明はいずれ行き詰る。今後、人間と自然の結節点である建築都市はどのように遷移し、どうすれば人工環境が自然環境に押し付ける負荷を減らせられるだろうか。新たな環境理念や環境行動を定義する必要があるであろう。

さて、建築環境・設備学は、人間生活や目的用途に応じて、建築内外の環境をパッシブにデザインし、アクティブにコントロールする空間システム学である。建築の物理環境性能を明らかにして、建築都市のサステイナブルな設計と運用を目指している。持続可能な建築都市とは、風土から生まれる「地生えの精神」と、過去と未来の人間を繋ぐ「正統の継承」が要件となる。建築都市は人間なしでは存在しない。ならば、住まいは人間の進化の足跡である。その進化が環境に依存するのなら、正に住まいは人間が環境から学びとった適応の所産である。これからは、パッシブデザインとアクティブコントロールの統合が持続可能な建築都市の核心的コンテンツとなり、気候が選ぶ環境デザインや資源が選ぶエネルギーデザインが要求されると確信している。

建築を学んでいる学生諸氏をはじめ、多くの方々に建築の多面性を感じ取って頂ければ幸いである。

（おごき あきひと

：生命環境科学研究科教授）

御紹介の「持続建築のための環境史観」（請求記号 520 || W）は、2階閲覧室入口の新着図書コーナーに配架していますので、御利用ください。



府大生の読書傾向 ～2008・2009・2010～

図書館では、毎日いろんな本が貸し出され、返却されます。

よく利用された本のタイトル (ベストリーダー) を表にしました。2008年度と2009年度分は、以前本誌で紹介した時は途中経過だったので年度集計 (上位約30タイトル) を、2010年度は4～11月までの途中経過 (上位約50タイトル) です。

どの年も、学生さんに人気の小説が目につきます。ベストセラーの小説は、学部生も大学院生も、学部を問わず、どんどん貸し出されて、予約も入ります。書架に戻したとたんに、予約はしなかったけれど偶然に出会えた学生さんが、ラッキー！とうれしそうにカウンターへ持ってこられます。

しかし、専門書はなかなかそうはいきませんが、もう少し詳細にリストの中身を見てみましょう。すると、今年、従来とは少し違った傾向に気がつきました。

表 1 2010年4～11月

順位	タイトル/著者
1	告白/湊かなえ著
2	贖罪 (ミステリ・フロンティア:55)/湊かなえ著
3	植物図鑑/有川浩著
3	阪急電車/有川浩著
5	1Q84 (ichi-kew-hachi-yon) : a novel book 2/村上春樹著
5	1Q84 (ichi-kew-hachi-yon) : a novel book 3/村上春樹著
5	あるキング/伊坂幸太郎著
5	新参者/東野圭吾著
9	1Q84 (ichi-kew-hachi-yon) : a novel book 1/村上春樹著
10	宵山万華鏡/森見登美彦著
10	SOSの猿/伊坂幸太郎著
12	神様のカルテ/夏川草介著
12	少女 (ハヤカワ・ミステリワールド)/湊かなえ著
12	小暮写真館/宮部みゆき著
15	レポート・論文の書き方入門 第3版/河野哲也著
16	終末のフール/伊坂幸太郎著
16	神去なあなあ日常/三浦しをん著
18	ノルウェイの森上/村上春樹著
19	グレート・ギャツビー 愛蔵版 [正]/スコット・フィッツジェラルド著/村上春樹訳
19	図書館内乱/有川浩著/徒花スクモイラスト
19	四十九日のレシピ/伊吹有喜著
22	近世日本と東アジア/荒野泰典著
23	日本書紀 1 (新編日本古典文学全集:2-4)/小島憲之 [ほか] 校注・訳
23	京都観光のススめ/井口和起 [ほか] 著
23	死神の精度/伊坂幸太郎著
23	図書館戦争/有川浩著/徒花スクモイラスト
23	「新釈」走れメロス:他四篇/森見登美彦著
23	四畳半神話大系/森見登美彦著
23	有頂天家族/森見登美彦著
23	子どもの最貧国・日本:学力・心身・社会におよぶ諸影響 (光文社新書:367)/山野良一著
23	恋文の技術/森見登美彦著
23	オー!ファーマー/伊坂幸太郎著
23	史記 上 (中国古典文学大系:第10巻-第12巻)/司馬遷著/野口定男 [ほか] 訳
34	アヒルと鴨のコインロッカー (創元推理文庫)/伊坂幸太郎著
34	秘密/東野圭吾著
34	ノルウェイの森下/村上春樹著
37	プリンセス・トヨトミ/万城目学著
38	吉利支丹文学集2 (東洋文庫:567, 570)/新村出, 柀源一校註
39	研究の方法 (岩波講座日本考古学:1)/横山浩一 [ほか] 執筆
40	大学生なら知っておきたい物理の基本 力学編/為近和彦著
41	日本イエズス会版キリシタン要理:その翻案および翻訳の実態/亀井孝 [ほか] 著
41	太陽の塔/森見登美彦著
41	ゆとり教育から個性浪費社会へ (ちくま新書:451)/岩木秀夫著
41	ひとりずもう/さくらももこ絵と文
41	女は見た目が10割:誰のために化粧をするのか (平凡社新書:333)/鈴木由加里著
41	マクロ経済学入門 第2版 (日経文庫:1030)/中谷巖著
41	八日目の蟬/角田光代著
41	アダム・スミス:『道徳感情論』と『国富論』の世界 (中公新書:1936)/堂目卓生著
41	ゴールデンスランバー/伊坂幸太郎著
41	探偵ガリレオ (文春文庫:[ひ-13-2])/東野圭吾著
41	オーデュボンの祈り (新潮文庫:い-69-1)/伊坂幸太郎著
41	予知夢 (文春文庫:[ひ-13-3])/東野圭吾著
41	鴨川ホルモー/万城目学著
41	夜は暗くはいけないか:暗さの文化論 (朝日選書:600)/乾正雄著
41	ブラザー・サン シスター・ムーン/恩田陸著
41	夜は短し歩けよ乙女 (角川文庫:も19-2)/森見登美彦 [著]
41	怖い絵 [1]/中野京子著
41	美女と竹林/森見登美彦著
41	星間商事株式会社社史編纂室/三浦しをん著
41	数えずの井戸/京極夏彦著
41	バイバイ、ブラックバード (Postal novel)/伊坂幸太郎著
41	夜行観覧車/湊かなえ著
41	勝手にふるえてろ/綿矢りさ著

表1～3とも ※順位欄がグレーに白文字は、学生希望図書 (注意:学生希望図書としてリクエストされたものでも、図書館費で購入したものや寄贈を受けたものは、このリストでは学生希望図書になっていません)
※順位欄が斜線になっているタイトルは、新入生ゼミナール課題図書

これまで小説以外では、自然科学系の入門書や教科書に使われている基本書の貸出が多かったのですが、今年は、文学、歴史、社会と言った人文社会科学系の本が目立ちます。自然科学系が目につくのは、ご紹介できなかった60位以降でした。

15位には、論文・レポートの書き方の本がランクインしました。1回生に多く貸し出されているので、やっぱり大学生として気になることなんだ、「職業・資格、調べ方・論文の書き方 コーナー」を設置してよかったと、改めて実感しています。

それをふまえ、学年別貸出冊数をみてみました。4月から11月を過去3年比較したところ、今年は圧倒的に1回生の貸出が増加。昨年同期よりなんと1,499冊増。2回生と大学院生の貸出冊数は若干減っていますが、他は増えています。

今年度累積貸出は11月末現在9,767タイトル、15,356冊。史上最高の貸出冊数だった2008年度（4～11月／15,613冊 年間22,288冊）に迫る勢いです（昨年度4～11月／14,553冊 年間20,964冊）。新着図書コーナーの展示を工夫しつつ、今年度は年間貸出冊数最高記録が更新されるだろうかと大いに期待しています。

表2 2009年度

順位	タイトル/著者
1	告白/湊かなえ著
2	少女(ハヤカワ・ミステリワールド)/湊かなえ著
3	重力ピエロ/伊坂幸太郎著
4	フィッシュストーリー/伊坂幸太郎著
4	流星の絆/東野圭吾著
6	肩ごしの恋人(集英社文庫)/唯川恵著
6	ゴールデンランパー/伊坂幸太郎著
8	よくわかる構造力学の基本:建築工学の基礎と解き方(How-nual 図解入門)/松本慎也著
9	陽気なギャングが地球を回す:長編サスペンス(祥伝社文庫)/伊坂幸太郎著
9	パラレルワールド・ラブストーリー(講談社文庫)/東野圭吾[著]
9	予知夢(文春文庫:[ひ-13-3])/東野圭吾著
12	ガリレオの苦悩/東野圭吾著
13	アヒルと鴨のコインロッカー(創元推理文庫)/伊坂幸太郎著
14	レイクサイド(文春文庫:[ひ-13-5])/東野圭吾著
14	ハリー・ポッターと死の秘宝 下/J.K.ローリング作/松岡佑子訳
14	モダンタイムス/伊坂幸太郎著
14	ホルモー六景/万城目学著
18	若者はなぜ殺すのか:アキハバラ事件が語るもの(小学館101新書:015)/芹沢俊介著
19	単位が取れる線形代数ノート/齋藤寛靖著
20	終末のフル/伊坂幸太郎著
20	西の魔女が死んだ(新潮文庫:な-37-2)/梨木香歩著
20	ハリー・ポッターと死の秘宝 上/J.K.ローリング作/松岡佑子訳
20	聖女の救済/東野圭吾著
20	プリンセス・トヨトミ/万城目学著
25	海辺のカフカ 上(新潮文庫:む-5-24, む-5-25)/村上春樹著
25	1Q84 (ichi-kew-hachi-yon): a novel book 1/村上春樹著
25	1Q84 (ichi-kew-hachi-yon): a novel book 2/村上春樹著
28	どこから行っても遠い町/川上弘美著
29	なっとくする量子化学/中田宗隆著
30	徳川の国家デザイン(日本の歴史:全集:10)/水本邦彦著

表3 2008年度

順位	タイトル/著者
1	図書館戦争/有川浩著/徒花スクモイラスト
1	探偵ガリレオ(文春文庫:[ひ-13-2])/東野圭吾著
3	図書館危機/有川浩著/徒花スクモイラスト
3	ダイニング・アイ/東野圭吾著
5	乳(ちち)と卵(らん)/川上未映子著
5	容疑者Xの献身/東野圭吾著
7	図書館内乱/有川浩著/徒花スクモイラスト
7	チーム・バチスタの栄光 上(宝島社文庫:[599,600])/海堂尊著
7	チーム・バチスタの栄光 下(宝島社文庫:[599,600])/海堂尊著
7	片想い(文春文庫:[ひ-13-4])/東野圭吾著
7	流星の絆/東野圭吾著
12	海辺のカフカ 下(新潮文庫:む-5-24, む-5-25)/村上春樹著
13	海辺のカフカ 上(新潮文庫:む-5-24, む-5-25)/村上春樹著
13	アヒルと鴨のコインロッカー(創元推理文庫)/伊坂幸太郎著
13	図書館革命/有川浩著
16	別冊図書館戦争 1/有川浩著/徒花スクモイラスト
17	中国歴史研究入門 初版/礪波護, 岸本美緒, 杉山正明編
18	ゴールデンランパー/伊坂幸太郎著
19	ノルウェイの森 上/村上春樹著
20	ハート基礎有機化学 3訂版/H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート共著/秋葉欣哉, 奥彬共訳
21	死神の精度/伊坂幸太郎著
21	陰日向に咲く/劇団ひとり著
21	14歳/千原ジュニア著
25	有機化学概説 第6版/John McMurry, Eric E. Simanek [著]/伊東淑, 児玉三明訳
26	生化学・分子生物学 第2版/William H. Elliott, Daphne C. Elliott [著]/清水孝雄, 工藤一郎訳
26	21世紀に何を食べるか(サイエンティフィックアドベンチャー:1)/葛西奈津子編著
26	日本古代労働力編成の研究/榎木謙周著
28	重力ピエロ/伊坂幸太郎著
28	グラスホッパー/伊坂幸太郎著
28	魔王/伊坂幸太郎著
28	青い鳥/重松清著
28	オーデュボンの祈り(新潮文庫:い-69-1)/伊坂幸太郎著
28	ドミノ(角川文庫:13221)/恩田陸[著]
28	予知夢(文春文庫:[ひ-13-3])/東野圭吾著

データベースのトライアルが終了しました。



2010年10月から11月にかけて、「日経BP記事検索サービス大学版」「朝日新聞記事オンラインデータベース開蔵Ⅱビジュアル」明治・大正・昭和（戦前）新聞記事、歴史写真、「大宅壮一文庫雑誌記事索引」のデータベースのトライアルを行いました。

中でも、「日経…」は、トライアルの度に大きな反響があります。

今回は、トライアル開始直後に「電子ジャーナルの学外アクセスの登録をしたいのですが…」という学生さんが何人もカウンターに来られてびっくり。よく話を聞いてみると、このデータベースを学外からも使いたいという申し出でした。残念ながら学内アクセスのみで、希望にお応えすることはできませんでした。が、このデータベースを使いたいという気持ちは十分に伝わってきました。

また、2カ月のトライアルの最終週には「やっぱり、11月末で使えなくなるんですよね？」と一縷の望みを持ってカウンターでたずねられた学生さんがありました。昨年も同様の声を聞きました。しかし、今年も「ごめんなさい。11/30で終わりです。」としか、伝えられませんでした。

2カ月のアクセス状況を見てみると、最初2週間とラスト2週間のアクセスが圧倒的に多く、『日経PC21』『日経ビジネス』の利用が目立ちました。全体的にはPC雑誌へのアクセスが目立ちましたが、幅広く利用され、データベースに収録されている36誌（本も含む）全てにアクセスがありました。

シューカツ応援！ 新しく企業情報コーナーを作りました!!



職業・資格・調べ方・論文の書き方コーナーの隣の小さな書架に、図書館に送付された企業のCSR（Corporate Social Responsibility = 企業の社会的責任）レポートや、今後受け入れる社史を配架します。

既存のコーナーと合わせて、将来を考えるために活用してください。

全て貸出可能です。

CSRレポートには、バーコード（資料番号）は貼ってありませんが、2週間貸出できます。カウンターにある一時持出票（雑誌を一時的に館外持ち出しする時に記入する用紙）に必要事項を記入して、カウンター職員に渡してください。

なお、既に受け入れている社史は、OPACに表示される所在にありますのでそちらをご覧ください。

設置後すぐに貸し出された資料もあり、学生さんの積極的な利用をお待ちしています。



カレンダー

開館時間等

9:00~ 21:00	9:00~ 17:00	休館 土日祝 年始・年度末
----------------	----------------	---------------------

☆閉館時の図書の返却は、図書館西側（喫煙コーナー付近）の返却ポストをご利用ください。

2011年1月							2011年2月							2011年3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28						27	28	29	30	31		
30	31																			

- ★ 1/5(水) 年始開館
- ★ 1/18(火) 冬休み長期貸出図書返却期限

- ★ 2/2(水)~ 春休み長期貸出開始返却期限
- 卒業・終了等予定の方 2/28(月)
- 上記以外の方 4/8(金)
- 協定校の方 3/18(金)

- ★ 3/22(火)~31(木) 蔵書整理のため、閲覧室休室
- 閲覧・複写・照会等の業務は停止。
- 3F各室の利用は可能。